

SDGs経営

ハンドブック

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



東京都内中小企業の 取り組み事例



SDGs取り組み事例 01

品質へのこだわりが 皆の喜びにつながる

■ ホットマン株式会社 (青梅市)

所在地：東京都青梅市長淵 5-251
 創業：明治元年 設立：昭和 26 年 4 月
 事業内容：繊維製品の製造・加工および販売
 代表取締役社長：坂本将之 従業員数：405 名



● 良いものを作る想いがSDGsに

テレビや雑誌で話題の「1秒タオル」で知られるホットマンは、純国産のタオルメーカーです。「お客様の快適で心豊かな生活に貢献する」という理念のもと、以前から、薬剤に頼らない製法、長持ちする品質、国内初のフェアトレードコットンタオルの製造・販売、必要な分だけつくる製販一体制などに取り組んできました。坂本社長とSDGsとの出会いは、「第19回グリーン購入大賞」。自社にも何かできないか考えたとき、すでに取り組んでいることがSDGsに通じていると気づき、推進を決定。その賞では、見事、大賞・経済産業大臣賞を受賞しました。

● 社内勉強会で現場を主役に

坂本社長がSDGsに向けてまず行ったのは、社内で勉強会を開くこと。その理由は、現場で働く人たちがSDGsを深く理解し、自ら進んで取り組んでくれないと意味がないと考えたためでした。その成果は徐々に表れ、「使用済みタオルを固形燃料にリサイクル」などのアイデアが社員の間から出るようになりました。また、環境にやさしい商品として認知が広まると、ホテルや企業のノベルティなどの引き合いも増え、ビジネスにも大いにプラスになっているそうです。現在では、SDGs推進の経験を地域の企業や学校などに伝えることにも貢献しています。

Q 社会貢献が思いつかない企業はどうすればいいですか？

Advice! どんな企業にも必ず存在意義があるはず。SDGsにつながる活動をぜひ探してみてください。



坂本社長

SDGs取り組み事例 02

「フェアトレード」の精神で 雇用・経済・環境に貢献

■ 武州工業株式会社 (青梅市)

所在地：東京都青梅市末広町 1-2-3 創業：昭和 26 年
 事業内容：自動車用金属加工部品 板金、プレス、樹脂加工、
 自動制御機械製作、パイプグラブ、BIMMS
 代表取締役会長：林 英夫 従業員数：150 名



● 地元社会の豊かさを守る

青梅市の部品メーカー武州工業が、SDGsに取り組むきっかけとなったのは、NPO法人「環境文明21」主催の「経営者「環境力」大賞」の受賞でした。以前より太陽光発電やLED照明導入といった温暖化対策の他、様々な取り組みを行っていましたが、特にユニークなのは、独自の「フェアトレード」による地域雇用を守る実践です。「フェアトレード」といえばコーヒー豆など、途上国の農家との取引の際に提唱されますが、武州工業が果敢に挑んでいるのは大手発注元メーカーとのフェアトレードです。

● 生産性向上で課題を解決

部品メーカーは、人件費の安い海外メーカーとの熾烈な価格競争に陥ってきました。そこで、いち早くデジタルトランスフォーメーションの先駆けとなるデジタル化や独自の生産体制により生産性を向上。過剰な品質を見直す新発想の品質管理で無駄な検査労力と「不良品」を減らし、低コスト化を実現してきました。その結果、赤字経営を維持し、リストラもせずに業界の荒波を乗り越えてきました。「不良品」を減らすことは、廃棄物削減、省エネルギーにもつながります。そして、フェアトレードという考え方は、従業員と会社との間にも取り入れられ、フラットで透明性のある社風が、従業員の自発性やモチベーションを引き出しています。

Q 会社の利益と社会の利益は結び付きませんか？

Advice! 自社のあるべき姿を追求していけば、自ずと社会にも会社にも利益になることが見えてくると思います。



林会長

